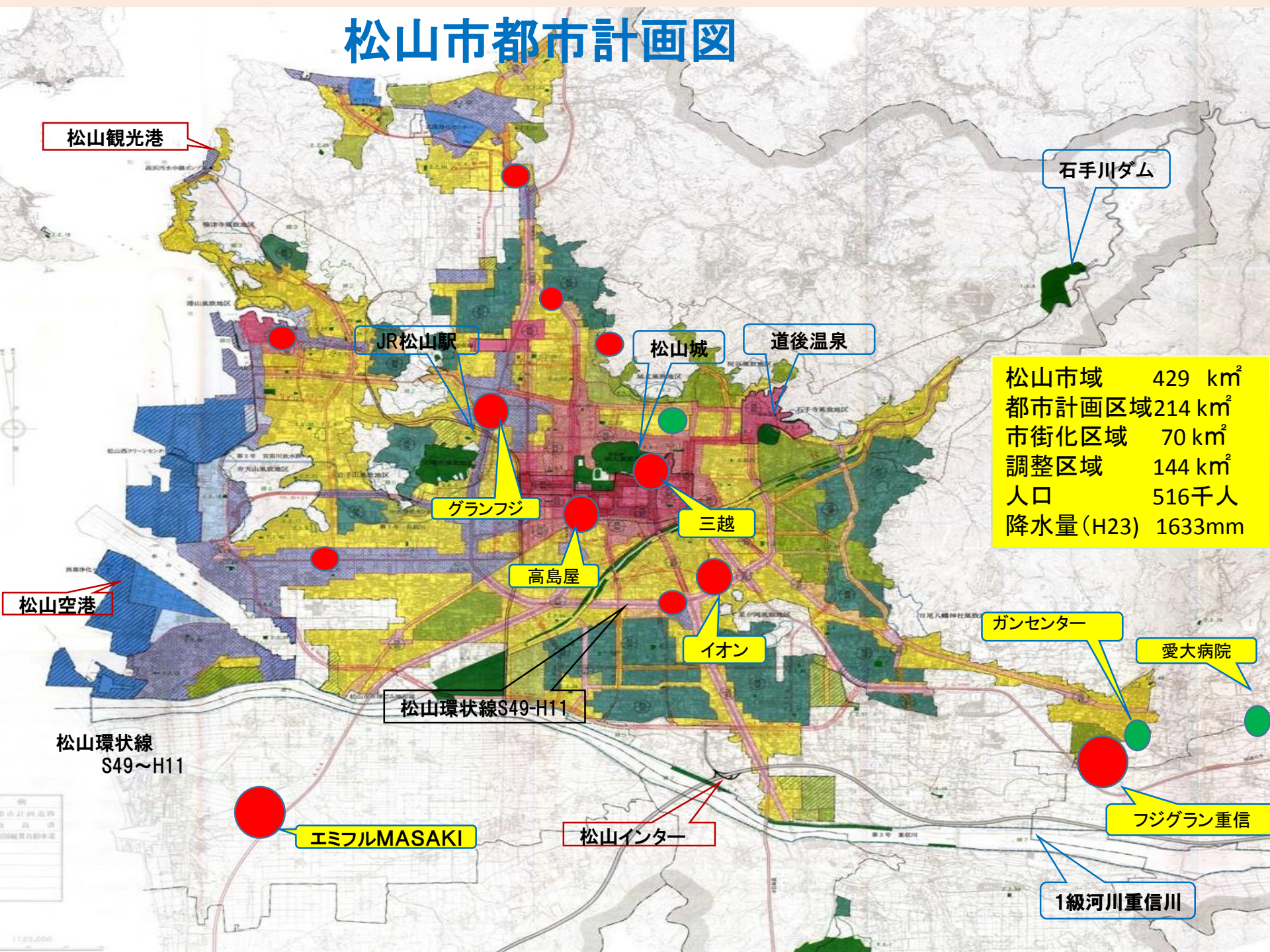


松山アーバンデザインセンターの運営



松山アーバンデザインセンター

松山市都市計画図



松山市域	429 km ²
都市計画区域	214 km ²
市街化区域	70 km ²
調整区域	144 km ²
人口	516千人
降水量(H23)	1633mm

松山観光港

石手川ダム

JR松山駅

松山城

道後温泉

グランフジ

三越

高島屋

イオン

松山空港

松山環状線S49-H11

ガンセンター

愛大病院

松山環状線
S49~H11

エミフルMASAKI

松山インター

フジグラン重信

1級河川重信川

設立の背景・趣旨

時代の潮流

- ・災害に強い安全・安心のまちづくりの推進
- ・少子高齢化社会への対応・コンパクトシティの実現
- ・経済のグローバル化への対応、雇用環境の改善
- ・産業の育成・経済の活性化
- ・環境負荷の低減
- ・生きる力を育む教育の推進

等々

課題の多様化、複雑化 ⇒ 解決策の複合化

【公】【民】【学】の連携と協働

それぞれの個人や組織が、様々な場面で臨機応変に連携、協働して解決に取り組む

民

市民 店舗 企業 等

松山市・(NPO・国・県)

公

連携のコア
UDCM
施設・スタッフ
MOBRU

愛媛大学・松山大学・松山東雲女子大学・聖カタリナ大学・東京大学

学

連携のプラットフォーム

連携協働・ネットワーク

研究の蓄積・専門性・学生の発想力・企画力

松山市の空間再整備エリア



JR松山駅
周辺

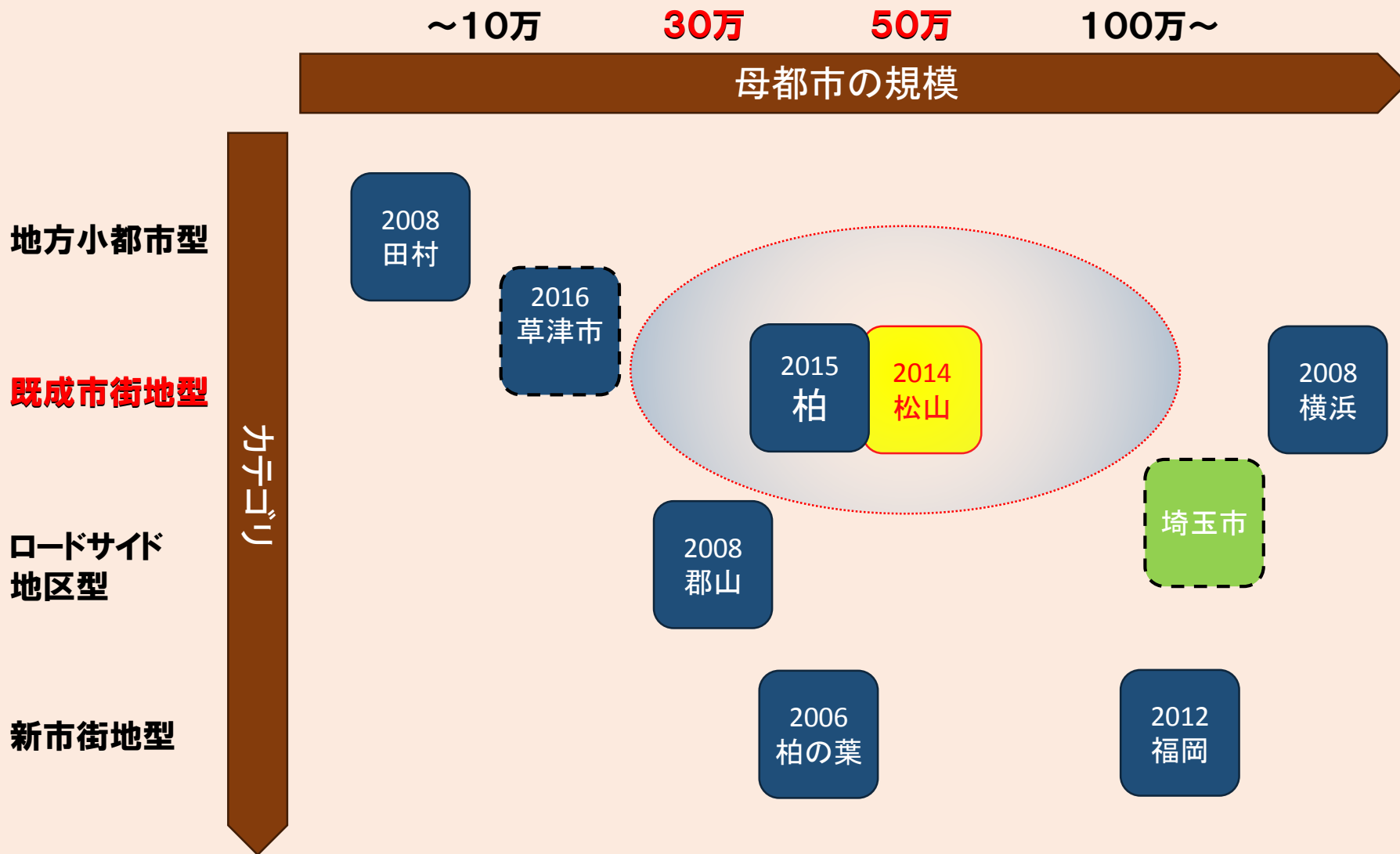
花園町通り道路空間再配分

一番町

再開発

L字地区再開発

各アーバンデザインセンターの位置関係



千葉県柏市

柏の葉アーバンデザインセンター

柏の葉

国際キャンパスタウン構想

- ・環境共生都市
- ・健康未来都市
- ・新産業創造都市

東京大学柏キャンパス

千葉大学柏の葉キャンパス

柏の葉アーバンデザインセンター活動対象エリア

柏の葉キャンパス駅

三井不動産(株)
柏ゴルフ倶楽部⇒土地区画
整理事業へ

つくばエクスプレス

関係機関

柏市、三井不動産、首都圏新都市鉄道、柏商工会議所、
田中地域ふるさと協議会、東京大学、千葉大学

2. 役割と体制

UDCMの運営体制(連携のプラットフォーム)

(監理運営組織)

松山市都市再生協議会

構成団体

会長
副会長

委員

計
13名

松山商工会議所(1名)
伊予鉄道(株)(1名)
株まちづくり松山(1名)

民

東京大学(1名)、愛媛大学(2名)
松山大学(1名)
聖カタリナ大学(1名)
松山東雲女子大学(1名)

学

松山市(4名)

公

(執行組織) = 連携のコア

松山アーバンデザインセンター

センター長	各プロジェクトを統括し、全体のアーバンデザインについて指示・調整等を行う
副センター長	
プロジェクトアドバイザー	プロジェクトごとに、専門的観点から指導・助言等を行う
ディレクター	建築、再開発、イベント・広報等、各担当における様々な事業の企画・調整・連携を図りながら、UDCMの事業執行を担う

実施、技術支援・マネジメント

プロジェクトA	都市ビジョンの再構築
プロジェクトB	アーバンデザインスクール
プロジェクトC	道後温泉まちづくり
プロジェクトD	街なか再生社会実験

松山市都市再生協議会

平成28年4月1日現在

	団体名・肩書	氏名	役職
地域経済団体	松山商工会議所 会頭	森田 浩治	
公共交通事業者	伊予鉄道(株) 取締役・運輸事業本部長	玉井 伸二	
まちづくり団体	(株)まちづくり松山 代表取締役会長	日野 二郎	監事
大学	愛媛大学防災情報研究センター長	矢田部 龍一	会長
	愛媛大学大学院 理工学研究科教授	吉井 稔雄	
	松山大学 法学部教授	妹尾 克敏	監事
	聖カトリック大学 教授	山本 克司	
	松山東雲女子大学 学長補佐	善本 裕子	
	東京大学大学院 工学系研究科 教授	羽藤 英二	副会長
行政	松山市 副市長	梅岡 伸一郎	副会長
	松山市 都市整備部 (開発・建築担当)部長	隅田 完二	
	松山市 都市整備部長	青木 禎郎	
	松山市 産業経済部長	平野 陽一郎	

松山アーバンデザインセンター(執行組織)

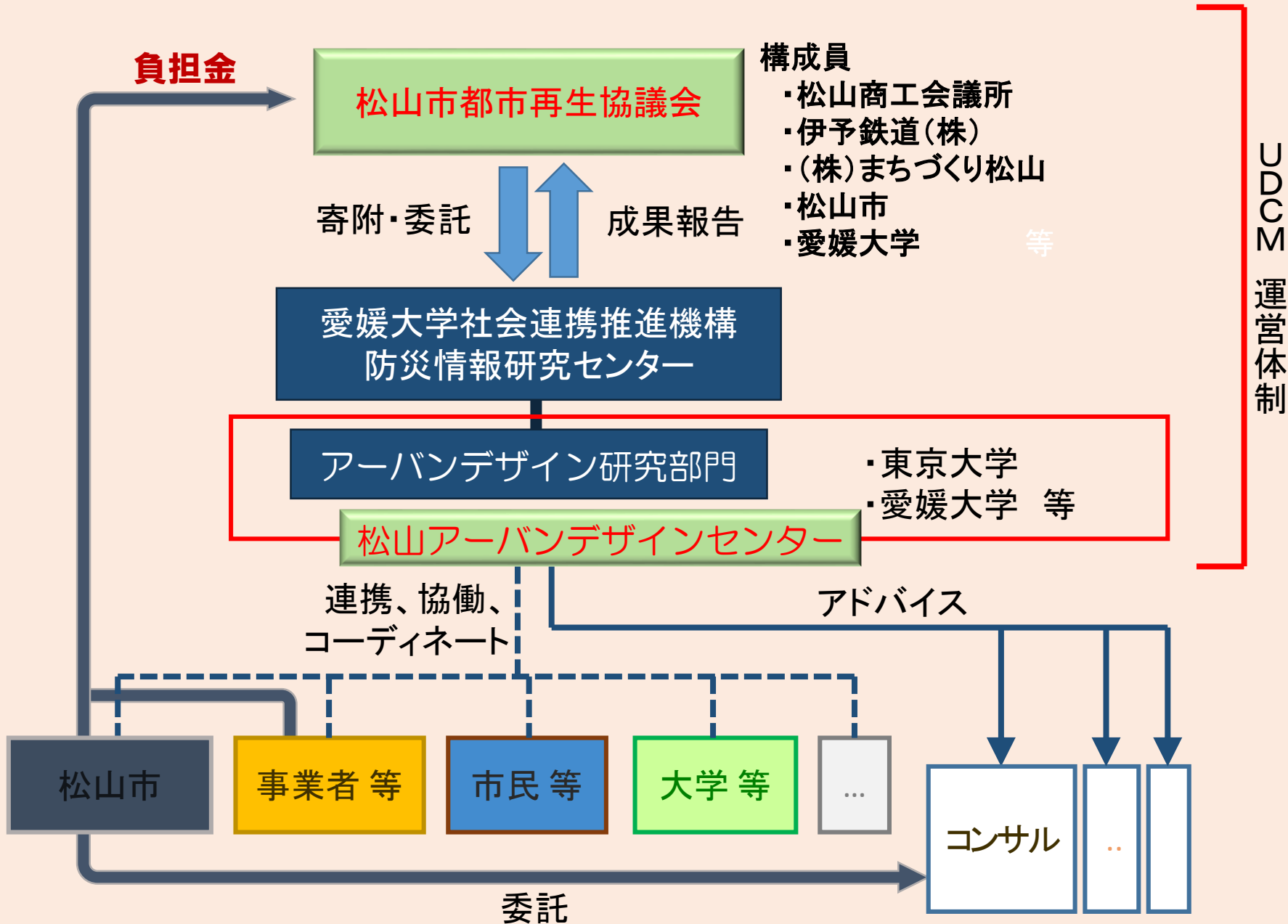
平成27年4月1日現在

役職	肩書	氏名
センター長	東京大学大学院工学系研究科 教授	羽藤 英二
副センター長	愛媛大学アーバンデザイン研究部門 教授	曲田 清維 ※
副センター長	愛媛大学大学院理工学研究科 准教授	羽鳥 剛史
シニアディレクター	愛媛大学アーバンデザイン研究部門 教授	松本 啓治 ※
ディレクター	愛媛大学アーバンデザイン研究部門 助教	小野 悠 ※
ディレクター	愛媛大学社会共創学部 助教	片岡 由香
ディレクター	愛媛大学アーバンデザイン研究部門 客員研究員	西村 正
ディレクター	愛媛大学アーバンデザイン研究部門 客員研究員	浅子 佳英
ディレクター	愛媛大学アーバンデザイン研究部門 研究員	新居田真美※
プロジェクトアドバイザー	愛媛大学社会共創学部 教授	松村 暢彦
プロジェクトアドバイザー	愛媛大学教育学部 教授	千代田憲子
プロジェクトアドバイザー	NPOいよココロザシ大学理事長	泉谷 昇
UDスクール運営委員	松山大学経営学部 准教授	河内 俊樹
UDスクール運営委員	聖カタリナ大学人間健康福祉学部	畔地 利枝
UDスクール運営委員	松山東雲女子大学人文科学部 講師	直井 玲子
客員研究員	(株)復建調査設計松山支店技術課長	石飛 直彦
事務職員	愛媛大学アーバンデザイン研究部門 研究補助員	大野 利恵 ※

※は、常駐職員

- ・ 上記スタッフのほかにもプロジェクトアドバイザー（大学教員等）、研究員（交通計画・都市計画・デザインの専門家、博士課程学生等）等が参加していく予定。

松山アーバンデザインセンター の事業執行の流れ



松山アーバンデザインセンターの役割

交わる

子供からお年寄りまで
みんなが集う広場
交流、休憩、遊び

知る

まちづくりの情報発信
まちライブラリー
まちなかマガジン【もぶる】
発行
FM愛媛ラジオ番組「まちラジ」

創る

地域デザイン
道後温泉活性化
花園町道路空間再配分
一番町大街道口景観整備
L字地区再開発
ワークショップ

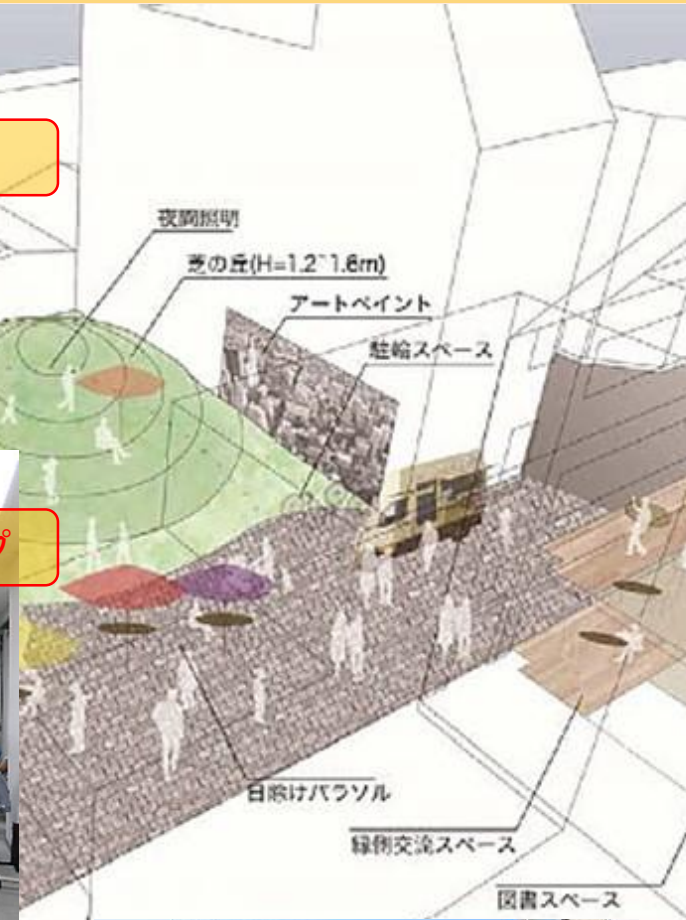
学ぶ

アーバンデザインスクール
アーバンデザイン研究会

松山アーバンデザインセンターの事業・H28年度

分類・項目	事業内容
政策・企画(研究・提案)	
歴史・文化まちづくり研究会	・歴史・文化的資源の活用(子規と湊石、伊予鉄道の歴史研究、古写真等)
松山交通研究会・若手経営者の生業研究会	・電車・バス・自転車と居住地との連携研究
都市ビジョン研究	・松山市の未来像のあり方の提案
ハード事業(実証実験・事業創出)(デザインマネジメント)	
拠点(センター施設)運営	・まちづくり相談、スクールや研究会開催、市民活動の場、大学のゼミ
みんなの広場整備 (賑わい再生社会実験)	・交流施設管理運営、イベント企画、効果検証 等
花園町通り空間改変・L字地区等再開発支援	・駐輪場・道路空間・沿道景観・愛称・勉強会支援・技術的支援
公共交通活性化	・路面電車等の利便性向上、自転車利用促進、フリンジ駐車場
道後温泉活性化	・道後温泉活性化に向けた研究
ソフト事業(交流・学習・情報発信)	
アーバンデザインスクール	・参加型の学習プログラム実施 等
まちづくり活動支援	・市民等まちづくり活動への助言・支援 等
ワークショップ開催	・声優ワークショップ、編集ワークショップ(まちづくり新聞)
メディア連携、発信	・HP、ラジオ(まちラジ)、広告、SNS等への戦略的発信 まちづくり新聞 等

中心市街地賑わい再生社会実験 (みんなのひろば・UDCM活動拠点)



みんなの広場の利用方法



芝養生後



隣の店が壁面に絵を！



土曜夜市



3. 11

みんなの広場の利用方法



壁面映画会



学生コンサート



本箱DIY



噴水をプールに



移動動物園



みんなの広場の利用方法



ひろば
の
ふぁーむ

まちなかではたけ・たんぼ
はじめませんか？



プランターのはたけで野菜を、バケツのたんぼでお米を育てて
みんなで収穫・試食をしようという体験企画の第2弾です。

育て方・やり方はメンバーのみなさんと学生スタッフがいっしょに
考えながら、自由楽しく野菜や稲の成長を見届けます。

野菜やお米を
まちの人と
楽しい時間を
みなさんむ



🥕 スケジュール ※日程はメンバーのみ
🌱 野菜の栽培(プランターで夏野菜&雑作り)
第1回 4月下旬～ みんなで育てる野菜を決めよう 5
第2回 …… 種を植えよう 5
…… 間引きをしよう 6
最終回 8月中旬～ 野菜を収穫しよう 9

🥕 お申し込み・お問合せ
ひろばのふぁーむメンバー、大募集！親子で、友達と、おひとりで登録いただいた方には、イベント情報・ふぁーむの様子等をお知らせいたします。
お申し込み方法
①代表者のお名前 ②代表者のご連絡先 ③参加人数 ④お申し込みの場所(UDCM施設1階)スタッフに直接、あるいは電話・メール (info@nigiwai-matsuyama.jp) でお伝えください。
※お米栽培希望の方でバケツを複数個希望の場合は、お申し込みください。

🥕 アクセス・その他
主催：松山アーバンデザインセンター
(松山市中心市街地社会実験事務局)



みんなの広場の利用方法

(学生イベント)

学生が企画・実施したお化け屋敷



山で竹切り



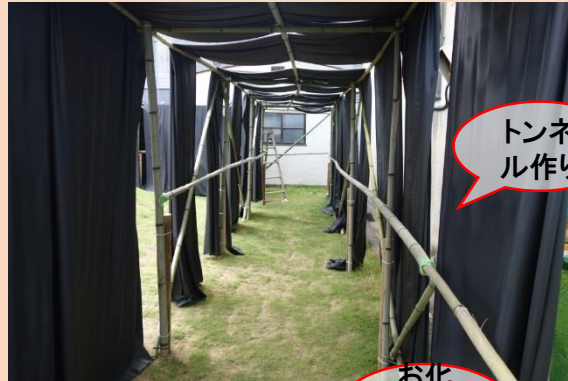
お化けアイテム



お化けアイテム



トンネル作り



トンネル作り



テント張り

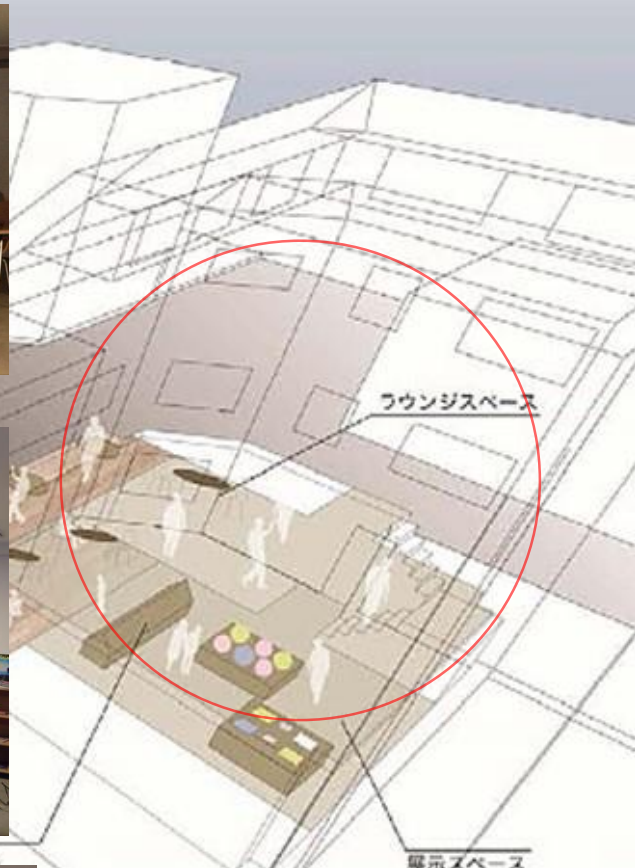


お化けアイテム



お化けメンバー

取り組み事例UDCM拠点施設（もぶるテラス）



レゴでまちづくり



ガラスにお絵かき



屋台DIY



絵本の読み聞かせ



交流会



まち@ラジ



スタッフミーティング



まち@ラジ



社会実験運営委員会



JCOMM視察



松山アーバンデザインスクールとは

学生から一般市民まで、まちへの思いを持った幅広い世代が集い、地元の関係者との交流を深めながら、まちづくりの企画から実践に至るまで、まちづくりに関わる一連のプロセスを体験し、その中でまちづくりの進め方を学んでいく学習プログラム

まちづくりの
学び



まちの
魅力創出

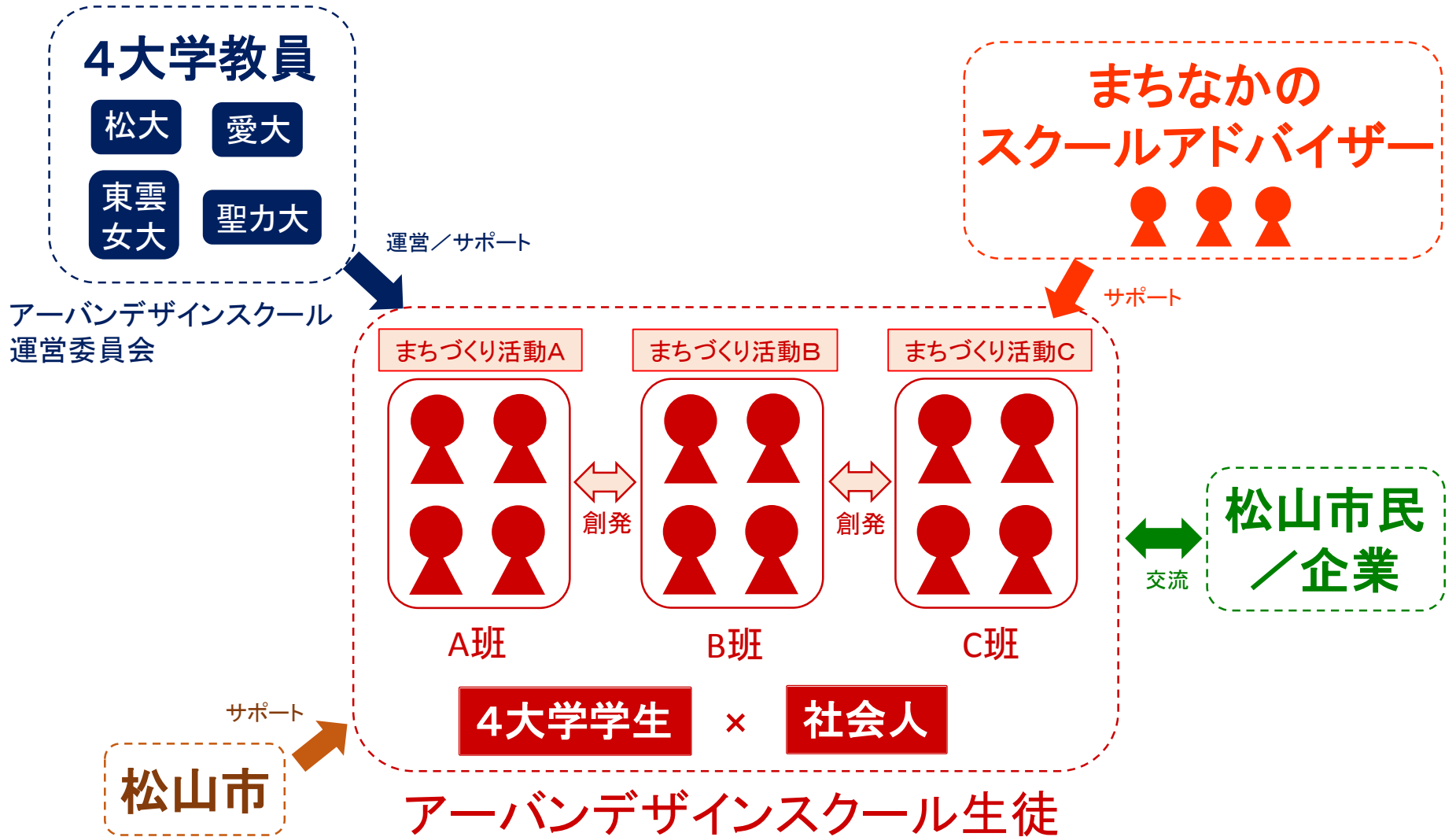


松山アーバンデザインスクールとは

ささやかなかことでも良い、
松山市が魅力的で誇りある街に
一步一步近づくことに、
貢献すること

を目指す

スクールの体制



プログラムの内容

- 開講期間：一年間(全20回程度)
- 開講日時：隔週(金曜日) 18時30分～20時30分

(15年)	12月	第1回	ガイダンス
		第2回	まちづくりワークショップ
(16年)		第3回	まち歩きの実施
		第4回	まち歩きの発表
	1月	第5回	まちづくりレクチャー『マーケティングの視点から見るまちづくり』
		第6回	まちづくりレクチャー『松山市のまちづくりの課題』
	2月	第7回	まちづくり事例の自主調査
		第8回	まちづくり事例の自主調査発表
	3月	第9回	(全2回)

4月	第10回	テーマ決めワークショップ by 第1期生 (全3回)
	第11回	
	第12回	
5月	第13回	プロジェクトテーマの発表
	第14回	プロジェクト企画書の作成 (全2回)
6月	第15回	
	第16回	地元の関係者と協議しつつ、プロジェクトを実践
7月		
	第17回 ～ 第20回	<ul style="list-style-type: none"> • プロジェクト企画の実施検討 • 地元関係者との協議
		プロジェクト企画の実施
11月		最終発表会

スクール生の企画

1期生(2014年11月～2015年11月)

	プロジェクト企画	メンバー
A	大街道の飲食店紹介マップ製作『ぼっち・つれてってマップ～』	マップ製作
B	愛媛の食文化を題材とした情報発信『愛媛の「食」』	情報発信 学生2名
C	『椿の香り』を生かしたまちづくりプロジェクト	地域ブランド 学生4名/社会人3名
D	道後地区の魅力発掘まち歩きイベント	マップ製作 まち歩き 学生3名/社会人1名
E	まちなか広場を活用した手づくりプール	空間デザイン(遊び場) 学生2名
F	スクール生の活動紹介ポータルサイト	情報発信 学生1名
G	道後地区の源泉を巡るまち歩きイベント『道後源泉ウォーク』	まち歩き 学生2名/社会人1名

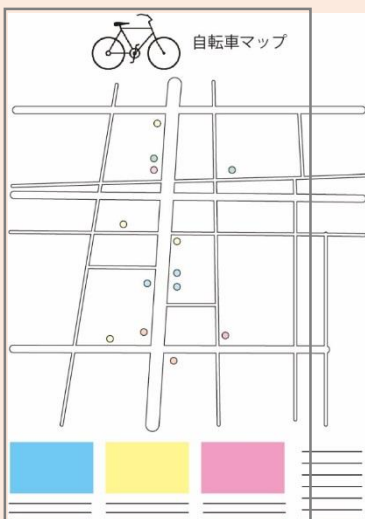
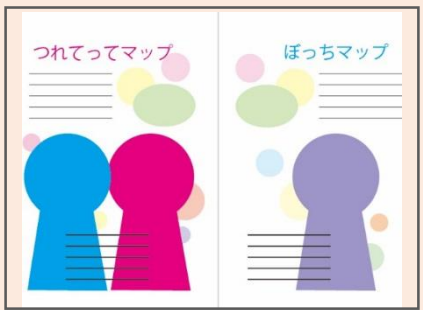
2期生(2015年11月～2016年11月)

	プロジェクト企画	メンバー
A	『路地裏映画館on正安寺通り』	空間デザイン(文化) 学生5名
B	空き家を活用した写真館プロジェクト	空間デザイン(交流) 学生2名
C	『段ボールでつくるじぶんたちのまち』	空間デザイン(遊び場) 学生4名/社会人3名
D	『伊予太郎鉄道 IYOTARO RAIKWAY』	公共交通 学生3名/社会人1名
E	『名もなき公園プロジェクト@柳井町商店街』	空間デザイン(交流) 学生2名
F	地元の暮らし紹介ポータルサイト『ジモティLife松山』	情報発信 学生1名
G	『椿の香り』を生かしたまちづくりプロジェクト	地域ブランド 学生5名/社会人1名

企画A 大街道の飲食店紹介マップ製作 『ぼっち・つれてってマップ』



地元商店街の仕組みの理解、配布協力の取り付け
違法駐輪による景観問題への貢献、利用時間、料金



企画C 『椿の香り』を生かしたまちづくりプロジェクト』



椿によるまちづくり構想

本プロジェクトの目標

「椿の道後」の定着

- 「椿の道後」ブランドの確立により、松山・道後観光の魅力として定着

椿のブランド化
椿の“香りの路”を作ることで「椿の道後」のブランド化を図る

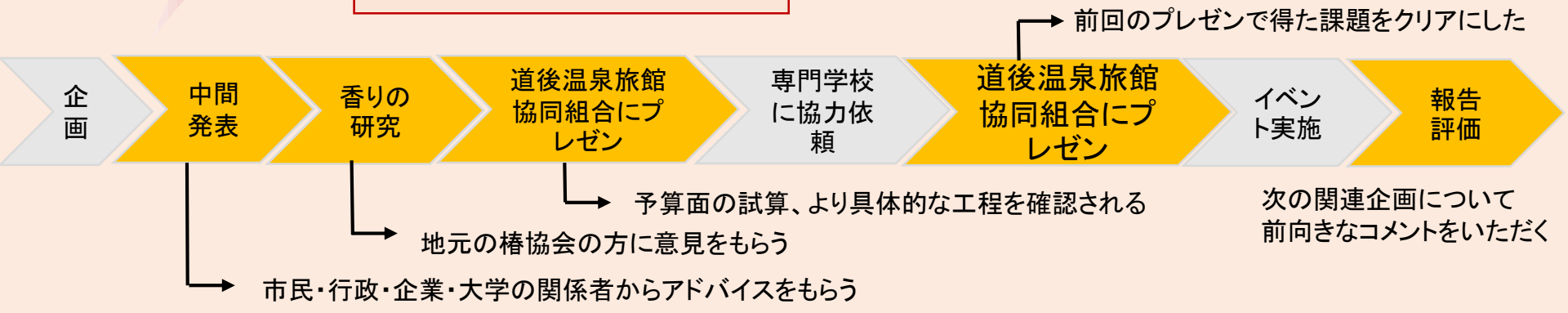
「椿の道後」の発展

- 「椿の道後」ブランドの商業展開 → 道後椿オリジナル商品の発売
- 椿を基にした“松山市の香り”制定によりオフィシャルブランド化

現状

- 各所に椿の見所がある
- 椿が道後の魅力となり得る要素はたくさんあるが、注目度は未だ低い

道後が市民の誇りに



プロジェクトの成果②

☆椿の香りでおもてなし(2015.10.1~4)

概要:道後温泉本館にて椿の香りを演出

イベント内容

- 道後温泉本館入口で香り演出 (アロママシン)
- 本館2階休憩室で香り演出 (リードディフューザー)

↓愛媛新聞(10/02)



ツバキの香りを生かしたおもてなしを考案した学生ら

ツバキ香る道後温泉

大学生ら考案 本館にアロマオイル設置

松山アーバンデザインセンタ―(UDCM)のまちづくり担い手育成講座で学んだ大学生や市民が1日、松山市道後湯之町の道後温泉本館にツバキの香りのアロマオイルを拡散させるディフューザーを設置、観光客らに香りで松山・道後の魅力をアピールした。

愛媛大工学部4年の堀井大輝さん(右)は「香りで体験を記憶する『フルーツ効果』を期待している。香りを生かしたまちづくりにつながれば」と願いを込めた。

(吉井聡司)



企画D 道後地区の魅力発掘まち歩きイベント

湯玉とみつける道後の魅力 みんなでつくろう道後マップ
松山市民を対象としたまちあるきを行い、地域住民自身で
道後の魅力を探してもらう

日時 2015年10月3日(土)、10月4日(日)

場所 道後 振鷺亭

主催 松山アーバンデザインセンター

協賛 道後温泉旅館協同組合
道後商店街振興組合
道後温泉誇れる
まちづくり推進協議会

協賛 松山市



企画E まちなか広場を活用した手づくりプール

来客数
こども:207名
大人:約300名

ラジオ 1局
新聞社 1社
テレビ 5局



企画E 道後地区の魅力発掘まち歩きイベント

進め方

5～7月初旬

- ①コンセプトづくり
- ②企画立案

7月中旬

- ③専門家との打合せ
- ④企画修正

8月中旬（本番直前）

- ⑤近隣住民あいさつ
- ⑥土嚢作り・組み立て

本番

8/21(金)～23(日)

保護者の意見

- ・異年齢の子達もたくさんいてとっても良い企画と思いました。
- ・手づくり感もとてもgood
- ・なかなかまちなかで、しかも水遊び（子どもの大好きな）ができる場所は作れない
- ・身体を使っのびのび外で遊べる場所は少ない



豊かな感性が育まれる



物事に取り組むやる気、集中力、粘り強さが身につく



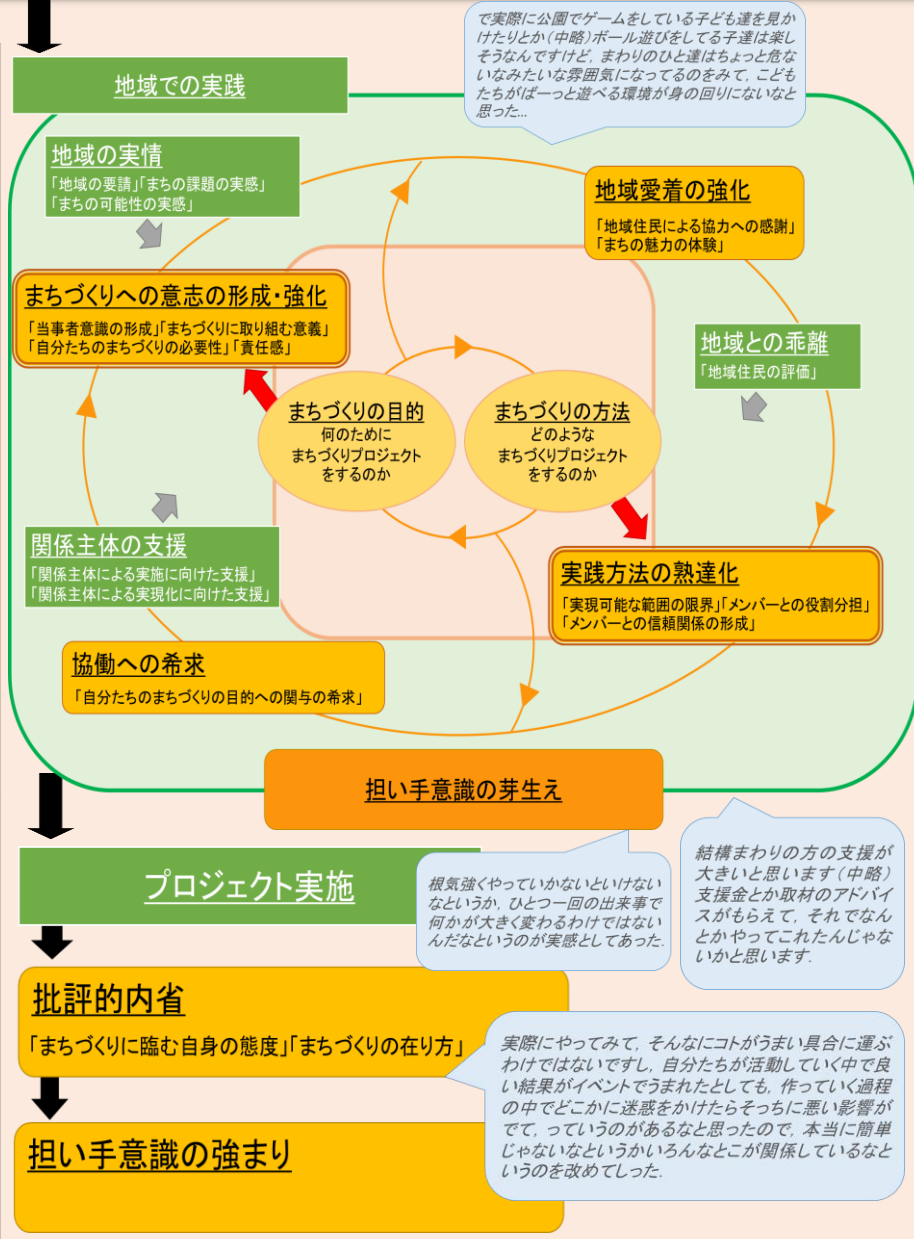
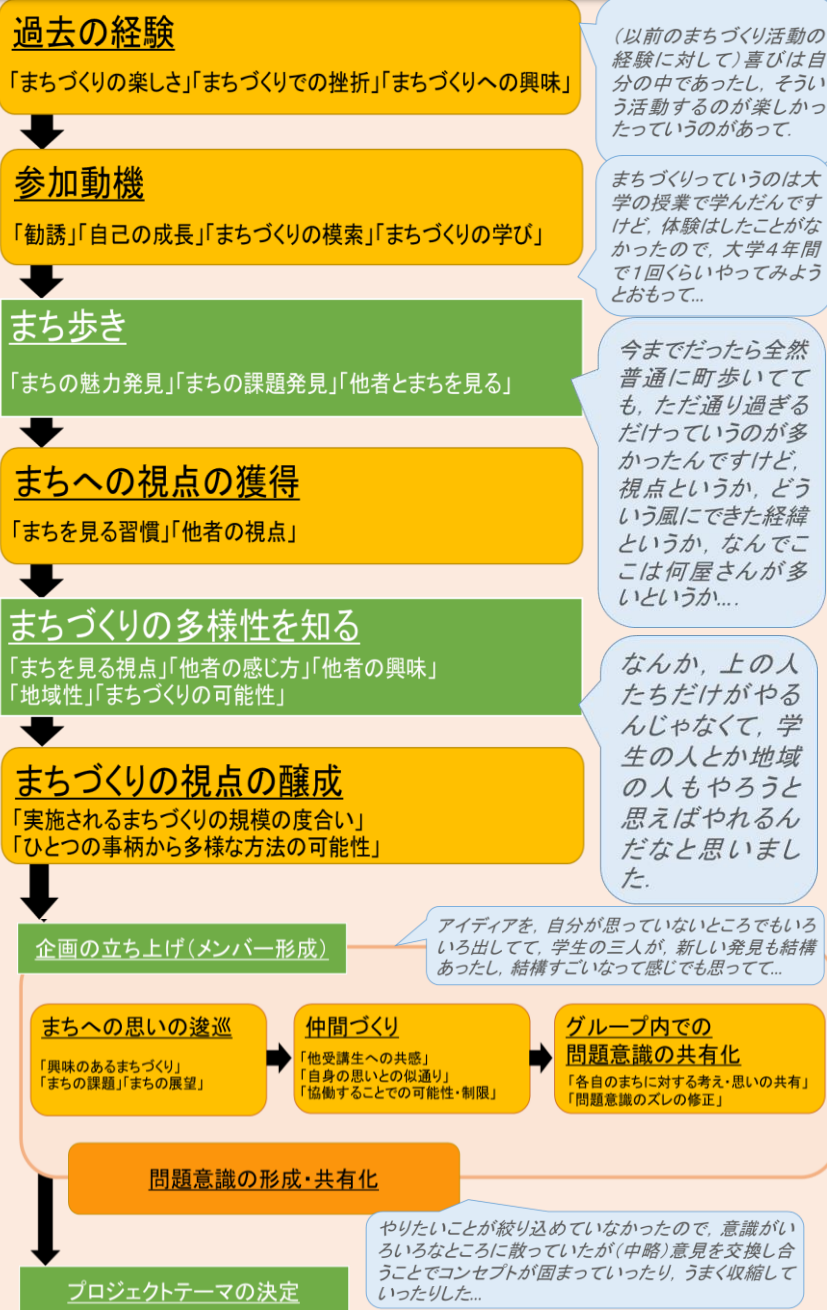
同世代や異世代の友達や地域と関わることで社会性が身につく

まちづくり担い手育成プログラムにおける学習プロセスに関する研究 — 松山アーバンデザインスクールの試み —

ガイダンス
2014年11月
まち歩きワークショップ
2014年11月
レクチャー
2014年12月
~2015年2月

企画立案
2015年
2月~4月

中間発表
2015年4月
プロジェクト実践
2015年
4月~11月
最終報告会
2015年11月



一番町大街道口の景観整備（アーケード改修）

●位置



一番町大街道口の景観整備（アーケード改修）

旧一番町大街道口



一番町大街道口デザインパース



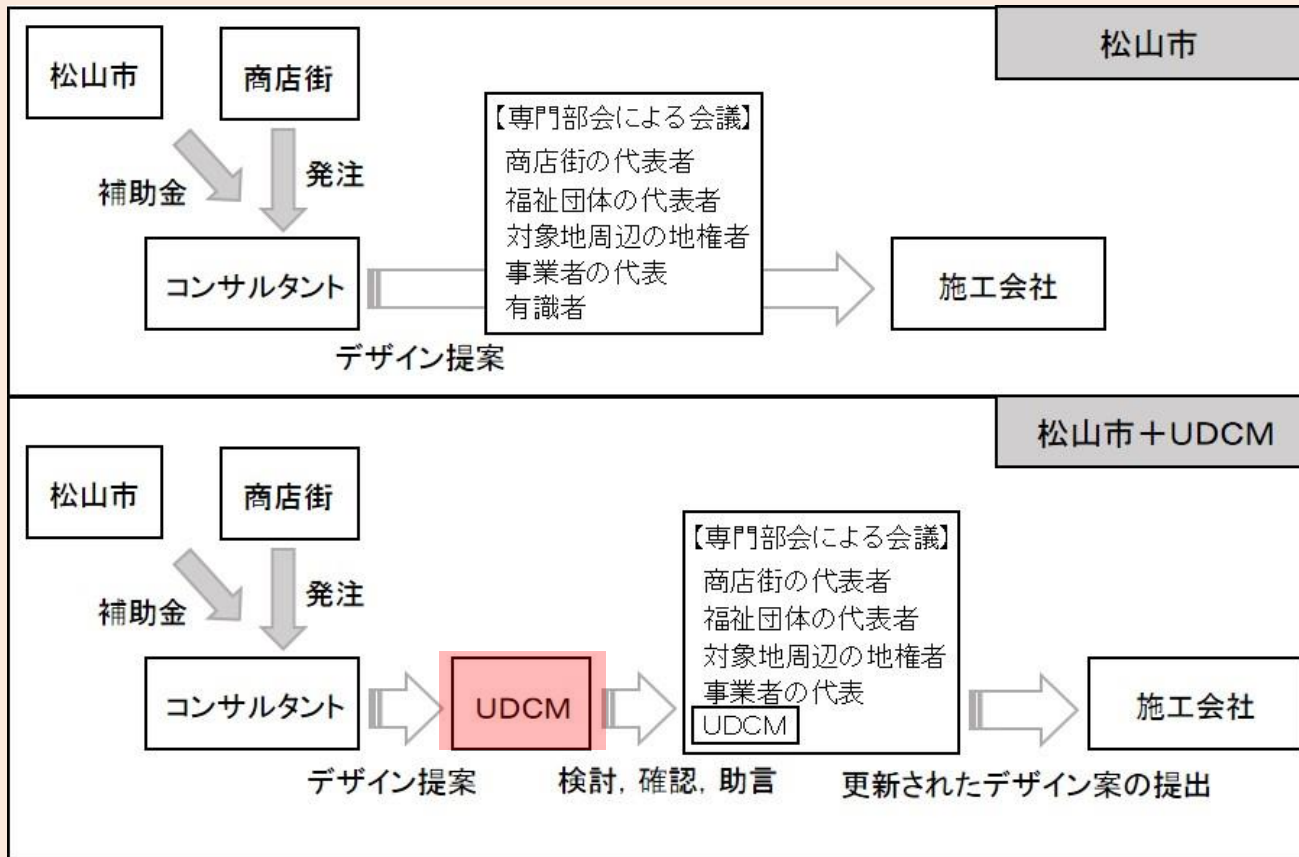
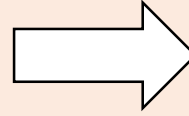
13F
1~2F商業
3~4Fブライダル
5~13Fカンディオホテルズ

8/26 アエル松山オープン



一番町大街道口アーケード改装

一番町大街道口の景観整備（アーケード改修）



花園町通り空間改変事業



松山市 中心部²⁶

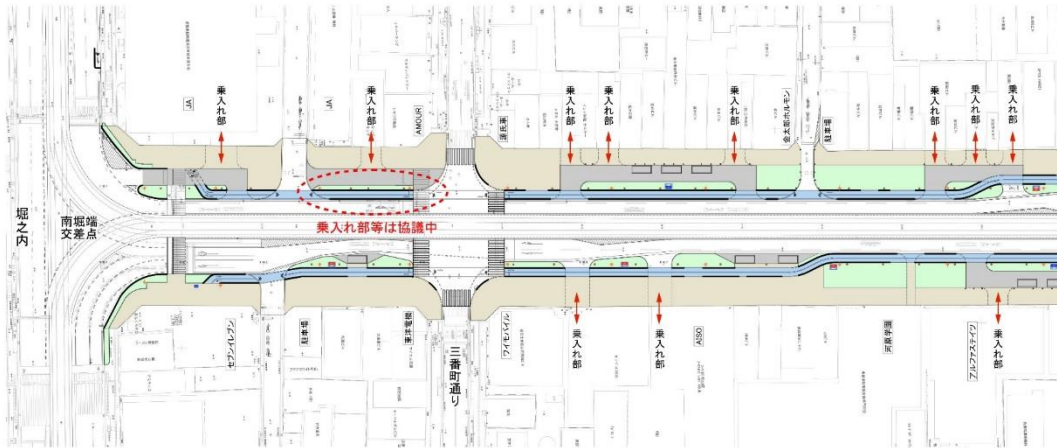
4.5Km



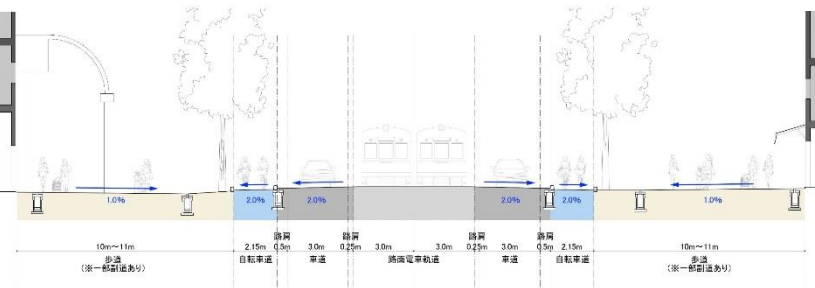
花園町通り空間改変事業



■花園町通り整備計画平面図(案)



■花園町通り整備計画断面図(案)



FM愛媛

えひめまるごと15分『まちラヂ』

毎週水曜日

11時40分～55分



10/10 南雲勝志氏



2/15 声優ワークショップメンバー

ラジオ音楽ドラマ「架空のまち」～子規、漱石の青春番地～

ラジオ音楽ドラマ
声優候補生募集
[40人限定]

2016年2月、放送予定
FM愛媛 開局35周年記念ラジオ音楽ドラマ
「架空のまち」
～子規、漱石の青春番地～

声優 森一馬さんがトレーニング

FM愛媛では開局35周年を記念し、ラジオ音楽ドラマ「架空のまち」～子規、漱石の青春番地～を制作、来年2月放送することになりました。そこでドラマ出演を目指す声優候補生を募集、候補生は声優、森一馬さんによる指導を経てオーディションを行う「声優ワークショップオーディション」に参加し、合格者は放送に臨みます。

声優ワークショップオーディション

（申し込み）
松山アーバンデザインセンター ドラマ専室
ハガキかメールに住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入し、メールかハガキで松山アーバンデザインセンター（下記）まで
松山アーバンデザインセンター ドラマ専室
〒790-0012 松山市漢町3丁目7-12
Eメール udcm.radio@gmail.com
問い合わせ 専務課 ☎089-968-2921

主催 松山アーバンデザインセンター、愛媛大学防災情報研究センター、FM愛媛 後援 松山市

あなたも
FM愛媛で
声優デビュー
しませんか？



12月12、13日声優ワークショップ風景 台本の読み方練習



漱石松山中学赴任120年、漱石没後100年を記念し、「架空のまち」～子規、漱石の青春番地～を制作した。俳優・森一馬氏を迎え、約40名のメンバーが参加し、声優ワークショップをおこなった。

収録 平成28年1月30日

全員で効果音の収録やタイトルコール、女子高生のおしゃべり、店内のがやがや風景な

編集ワークショップ・まちなか新聞

桜亭 フリーペーパー 桜亭 まちなか新聞(仮) 編集入門ワークショップ 受講者募集



フリーペーパーの編集企画から制作、発行まですべてをレクチャーし、希望者は9月から実際に「フリーペーパーまちなか新聞」の制作・編集にスタッフとして参加することができます。

松山市中心部の活性化を目的に市街地ならではのまちづくりやイベント情報、トレンドを市民が市民目線でキャッチし、できるだけおしゃれにカッコよくデザインして無料配布するフリーペーパーです。大きさや内容、デザインは受講者で話し合っ決めて決めます。

受講者のうち希望者は編集スタッフとして、9月から来年3月まで実際にフリーペーパーを制作。編

集・制作の実践的经验を積んでいきます。毎月約2000部発行することを予定しています。
内容の一部は、FM愛媛のラジオ番組「まち@らじ」などとタイアップ、街の音が聞こえるようなフリーペーパーを目指します。

フリーペーパー×ラジオ FM愛媛の番組とも連携。

「まちなか新聞」を一緒に作ろう！

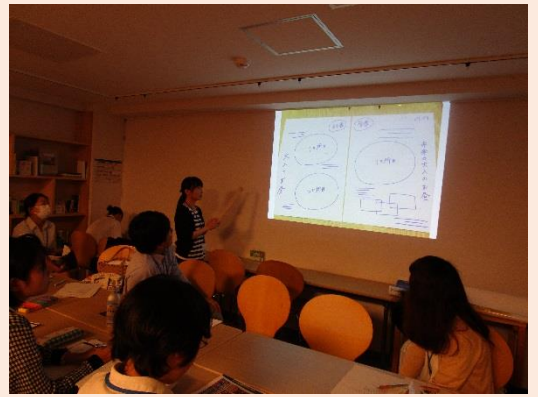
(受講内容)

- 編集企画の立て方
- 取材方法や記事の作り方
- 写真の撮り方
- デザインラフの作り方 など

受講無料
募集：30人限定
応募締切：5月6日(金)

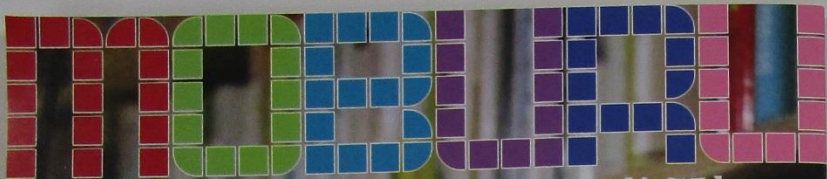
申し込み先◆ machi@joeufm.com
問い合わせ◆ 松山アーバンデザインセンター
〒790-0012 松山市湊町3丁目7番地12 TEL 089-968-2921

件名に「編集入門ワークショップ受講希望」と書いて、住所、氏名、年齢、職業、電話番号をご記入の上お申し込み下さい。



編集ワークショップ 平成28年度

アーバンデザインセンターの情報発信やまちなか情報を発信するため、まちなか新聞の制作を目指し、ワークショップを開催している。参加人員22人、第2、第4週開催
5月10日～8月23日 0号新聞を2種類作成、9月から本格的に新聞作成を行う。



市民による市民のための まちなかマガジン【もぶる】

2号

2016年
11月号

まちなかアートめぐり

松山OL白書
新人社員のひとりごと

花を召しませ

空間を自らつくる！
空き家リノベーション

のんびりおしゃべり、みんなの居場所

あなたのい～ばしょ



市民による市民のための まちなかマガジン【もぶる】

創刊号

2016年10月号

ヒカルさん登場！

えひめビト
生態図鑑



実態調査
今どき、高校生

秋のイベント情報
才昼ハ何ヲ食ベルノダ

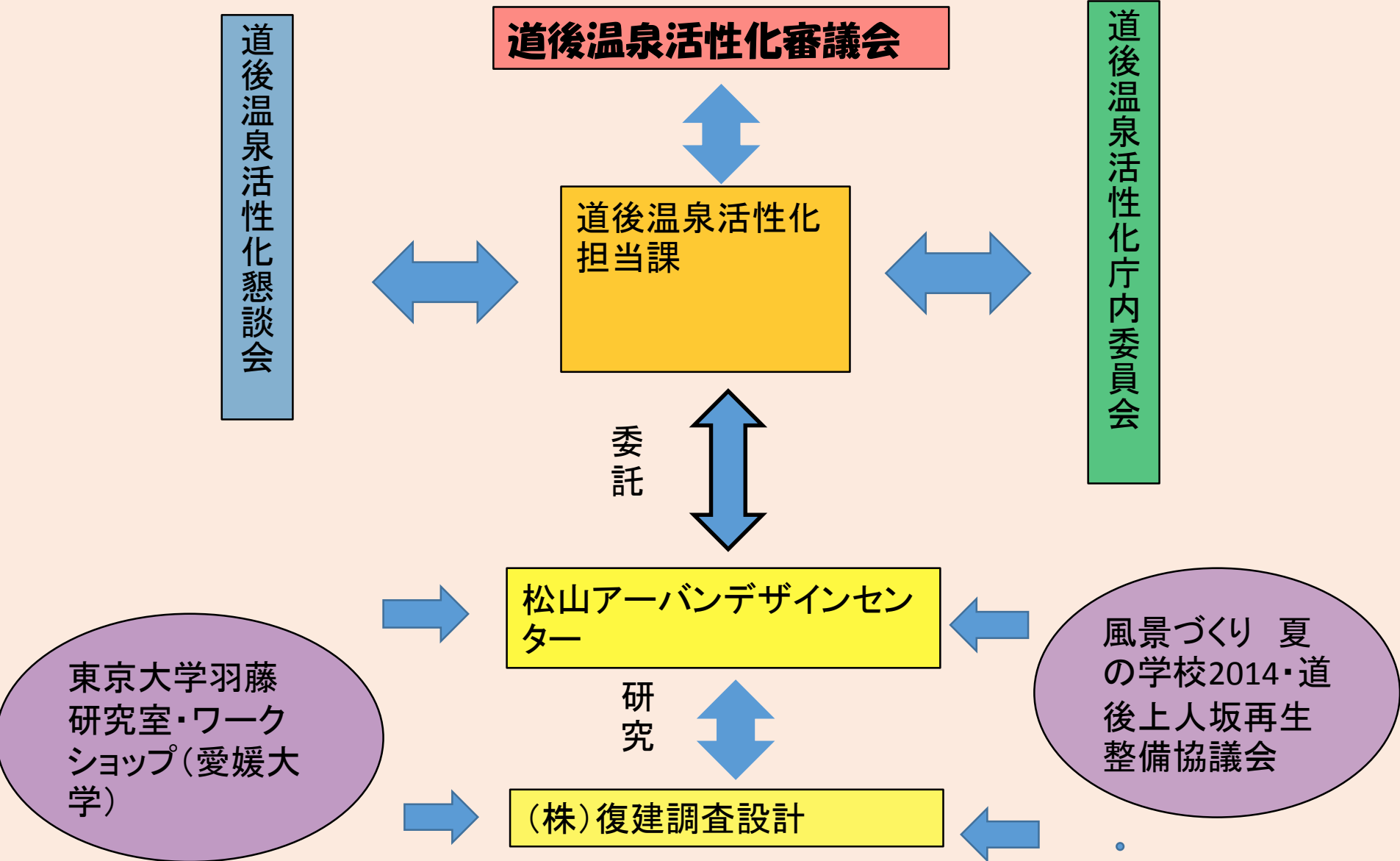
はっぴーカバー君が行く、道後村めぐり

まちなか一人旅

道後温泉活性化基本計画全体図



道後温泉活性化計画策定のプロセス H26



道後温泉

藤田香織(建築/構法) 窪田亜矢(景観/地域) 羽藤英二(土木)
黒瀬武史(東京大学) 山口敬太(京都大学) 吉谷崇(設計領域) 片岡由香(愛媛大学)

内藤廣 × 青木淳 × 後藤春彦



14作品がエントリー

パネルセッション

街頭プレゼン

壇上プレゼンおよび審査



7作品が表彰



スケジュール

参加申込締切	7月21日(月)	17:00 必着
選説明会	7月26日(土)	会場: 東京大学本郷キャンパス
現地説明会(※)	7月29日(火)	会場: 松山市道後地区
二次提出締切	9月13日(土)	17:00 必着【提出】パネルデータ
表審査・講評	9月19、20日	【提出】A1パネル2枚、模型
現地説明会	会場: 松山市道後地区	

現地説明会は希望者のみ

応募要項

参加申込締切: 7月21日(月)17:00
 参加申込先: seminar@bin.tu-tokyo.ac.jp
 申込内容: グループ代表者の連絡先及びグループ全員の氏名, 所属, 年齢(2014年4月1日時点)
 現地説明会への参加人数
 参加費: 無料(※説明会参加に伴う旅費は自己負担)

風景づくり夏の学校2014

主催: UDCM(アーバンデザインセンター松山)
 東京大学 復興デザイン研究体
 愛媛大学 防災情報研究センター アーバンデザイン研究部
 後援: 道後温泉旅館協同組合、道後商店街振興組合
 道後温泉誇れるまちづくり推進協議会
 公益社団法人日本都市計画学会、松山市

道後温泉地区再整備（H.26年～）

道後温泉地区再整備

●目的

「道後温泉活性化の基本方針」(H25策定)を踏まえた具体の計画策定

●内容

本館・冠山周辺、椿の湯周辺、上人坂・伊佐爾波神社周辺を中心に、回遊性向上等のための整備に向けた基本計画策定



U-30 都市計画設計競技『風景づくり夏の学校』



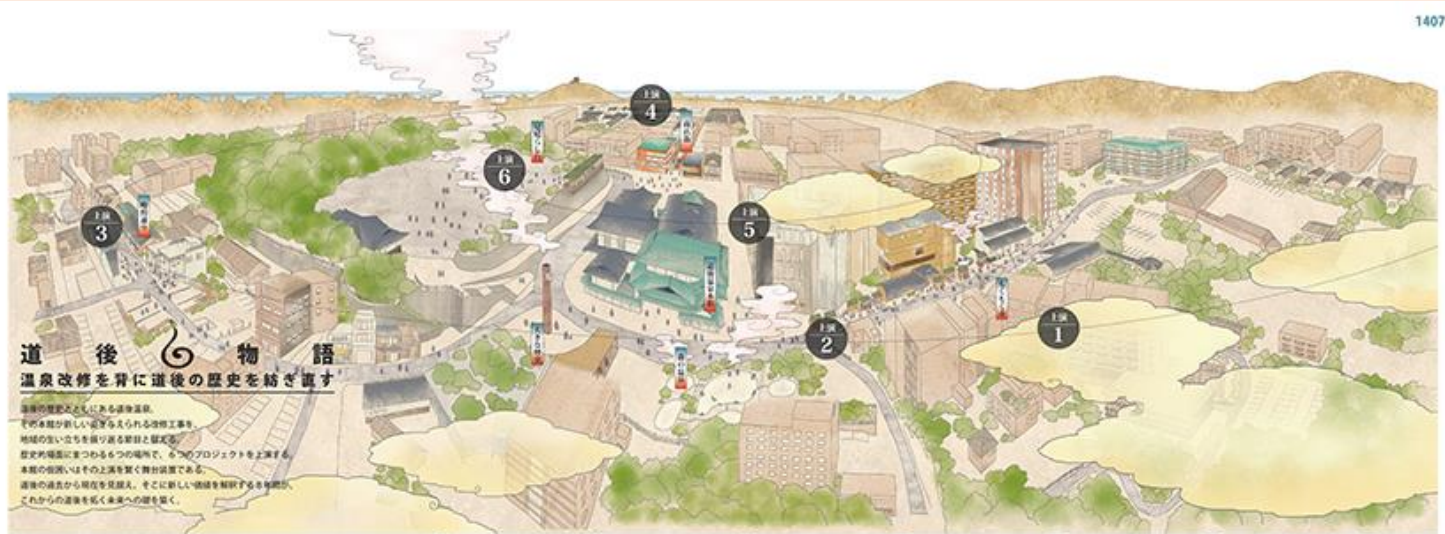
夏の学校2014・現地説明会・道後ワークショップ



【最優秀賞】道後六物語

チーム名：[1407]早稲田大学

メンバー：内田将大、茅根哲郎、加藤真梨菜、吉江俊、山田周、石川大樹、野原かなえ、福澤香織



1407

道後六物語

温泉改修を背に道後の歴史を紡ぎ直す

温泉の歴史とともにある温泉地。その本音が新しい風景を醸成する。地域の新しい立ち振る舞いを創出する。歴史の場面にまつ6つの場所で、6つのプロジェクトを上演する。本題の温泉はその上演を舞く舞台である。道後の過去から現在を見直し、そこに新しい価値を創出する。これからの道後を未来へつなぐ。

計画概要

温泉地を舞台に開く6年間の道後。道後の新しい物語を創出する。温泉地を舞台に開く6年間の道後。道後の新しい物語を創出する。温泉地を舞台に開く6年間の道後。道後の新しい物語を創出する。

目的

本プロジェクトは、道後の未来を創出することを目指す。

地域性

温泉地を舞台に開く6年間の道後。道後の新しい物語を創出する。

<p>舞台</p> <p>本題改修を背にした物語の上演。温泉地を舞台に開く6年間の道後。道後の新しい物語を創出する。</p>	<p>上場 1</p> <p>温泉地を舞台に開く6年間の道後。道後の新しい物語を創出する。</p>	<p>上場 2</p> <p>温泉地を舞台に開く6年間の道後。道後の新しい物語を創出する。</p>	<p>上場 3</p> <p>温泉地を舞台に開く6年間の道後。道後の新しい物語を創出する。</p>	<p>上場 4</p> <p>温泉地を舞台に開く6年間の道後。道後の新しい物語を創出する。</p>	<p>上場 5</p> <p>温泉地を舞台に開く6年間の道後。道後の新しい物語を創出する。</p>	<p>上場 6</p> <p>温泉地を舞台に開く6年間の道後。道後の新しい物語を創出する。</p>
---	--	--	--	--	--	--



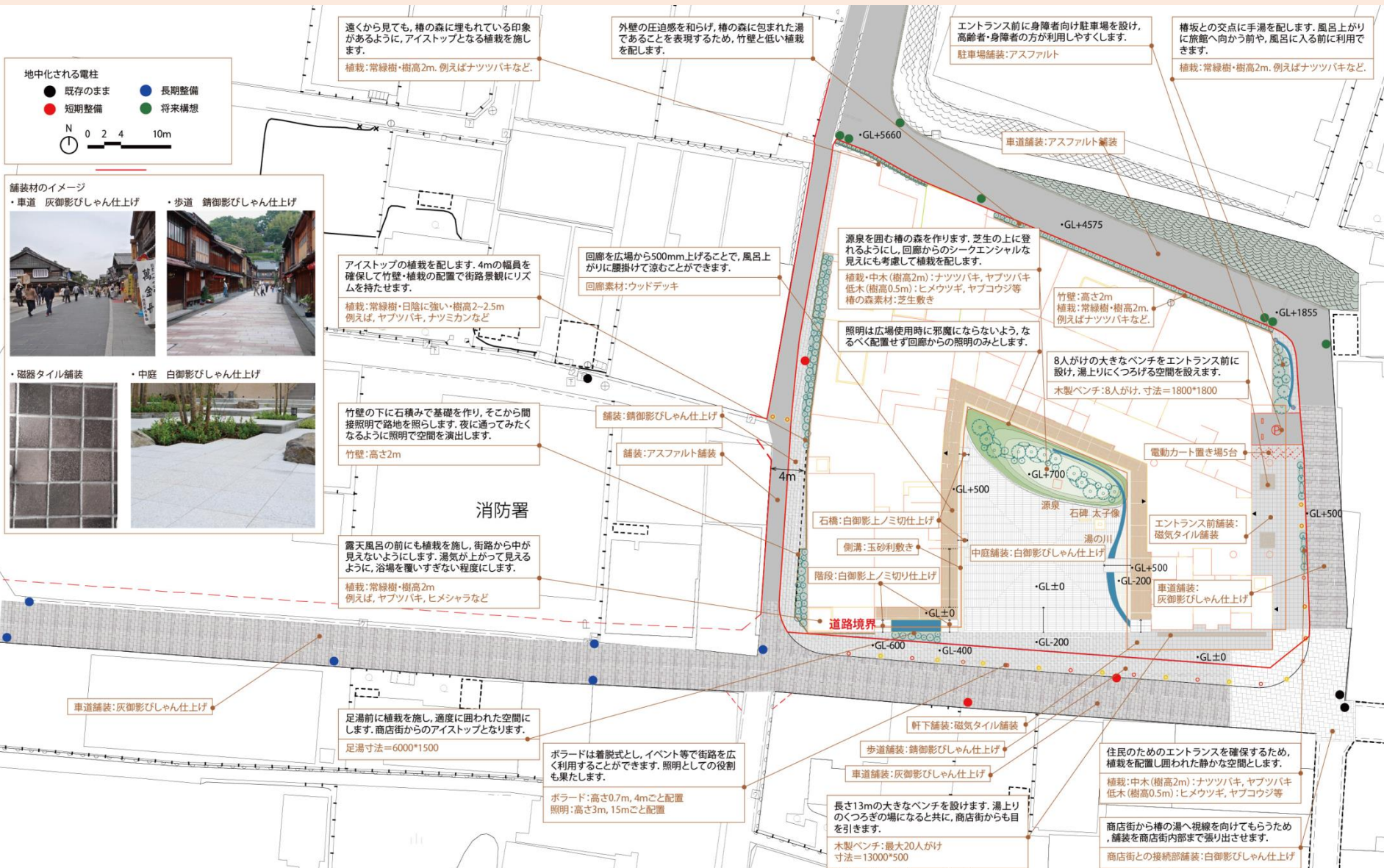
【内藤賞】道後かるた

チーム名：[1423]

メンバー：吉田涼子、田頭亜里、魚本大地



道後温泉椿の湯 新湯及び周辺整備



地中化される電柱

- 既存のまま
- 長期整備
- 短期整備
- 将来構想

N 0 2 4 10m

舗装材のイメージ

- ・車道 灰御影びしゃん仕上げ
- ・歩道 鏡御影びしゃん仕上げ

- ・磁器タイル舗装
- ・中庭 白御影びしゃん仕上げ

遠くから見ても、椿の森に埋もれている印象があるように、アイストップとなる植栽を施します。
 植栽:常緑樹・樹高2m. 例えばナツツバキなど。

外壁の圧迫感を和らげ、椿の森に包まれた湯であることを表現するため、竹壁と低い植栽を配します。

エントランス前に身障者向け駐車場を設け、高齢者・身障者の方が利用しやすくします。
 駐車場舗装:アスファルト

椿板との交点に手湯を配します。風呂上がりには旅館へ向かう前や、風呂に入る前に利用できます。
 植栽:常緑樹・樹高2m. 例えばナツツバキなど。

アイストップの植栽を配します。4mの幅員を確保して竹壁・植栽の配置で街路景観にリズムを持たせます。
 植栽:常緑樹・日陰に強い・樹高2~2.5m 例えば、ヤブツバキ、ナツミカンなど

回廊を広場から500mm上げることで、風呂上がりに腰掛けて涼むことができます。
 回廊素材:ウッドデッキ

源泉を囲む椿の森を作り、芝生の上に登れるようにし、回廊からのシークエンシャルな見えにも考慮して植栽を配します。
 植栽:中木(樹高2m):ナツツバキ、ヤブツバキ 低木(樹高0.5m):ヒメツツギ、ヤブコウジ等 椿の森素材:芝生敷き

竹壁:高さ2m 植栽:常緑樹・樹高2m. 例えばナツツバキなど。

照明は広場使用時に邪魔にならないよう、なるべく配置せず回廊からの照明のみとします。

8人がけの大きなベンチをエントランス前に設け、湯上りにくつろげる空間を設けます。
 木製ベンチ:8人がけ. 寸法=1800*1800

竹壁の下に石積みで基礎を作り、そこから間接照明で路地を照らします。夜に通ってみたくするように照明で空間を演出します。
 竹壁:高さ2m

舗装:鏡御影びしゃん仕上げ

舗装:アスファルト舗装

露天風呂の前にも植栽を施し、街路から中が見えないようにします。湯気が上がって見えるように、浴槽を覆いすぎない程度にします。
 植栽:常緑樹・樹高2m 例えば、ヤブツバキ、ヒメシャラなど

消防署

石橋:白御影上ノミ切り仕上げ

側溝:玉砂利敷き

階段:白御影上ノミ切り仕上げ

道路境界

源泉

石碑 太子像

湯の川

中庭舗装:白御影びしゃん仕上げ

エントランス前舗装:磁気タイル舗装

車道舗装:灰御影びしゃん仕上げ

電動カート置き場5台

車道舗装:灰御影びしゃん仕上げ

足湯前に植栽を施し、適度に囲われた空間にします。商店街からのアイストップとなります。
 足湯寸法=6000*1500

ポラードは着脱式とし、イベント等で街路を広く利用することができます。照明としての役割も果たします。
 ポラード:高さ0.7m, 4mごと配置 照明:高さ3m, 15mごと配置

軒下舗装:磁気タイル舗装

歩道舗装:鏡御影びしゃん仕上げ

車道舗装:灰御影びしゃん仕上げ

長さ13mの大きなベンチを設けます。湯上りのくつろぎの場になると共に、商店街からも目を引きます。
 木製ベンチ:最大20人がけ 寸法=13000*500

住民のためのエントランスを確保するため、植栽を配置し囲われた静かな空間とします。
 植栽:中木(樹高2m):ナツツバキ、ヤブツバキ 低木(樹高0.5m):ヒメツツギ、ヤブコウジ等

商店街から椿の湯へ視線を向けってもらうため、舗装を商店街内部まで張り出させます。
 商店街との接続部舗装:白御影びしゃん仕上げ

平成27年7月14日道後温泉活性化フォーラム

出席者	愛媛大学防災情報研究センター助教	片岡 由香
	松山アーバンデザインセンターディレクター	鮎田 好久
	道後温泉旅館協同組合	山澤 満
	道後温泉誇れるまちづくり推進協議会	松波 雄大
	コンソーシアム道後アートプロジェクト	
	東京大学大学院工学系研究科	
	都市生活学・ネットワーク行動学研究グループ	芝原 貴史
	愛媛大学法文学部観光まちづくりコース	亀田 真美
	建築家・東京大学名誉教授	内藤 廣
	内藤廣建築設計事務所代表	野志 克仁
	松山市長	羽藤 英二
	東京大学大学院工学系研究科教授	
	松山アーバンデザインセンター長	

道後温泉(仮称)椿の湯別館構想図



外湯文化を受け継ぐ道後のまちづくりについて



若手が語る道後の賑わいづくり



道後 百年輝き続ける最古の湯

